



# 新潟市立学校

# GIGAスクール構想推進ガイドライン

## (第3版 R4.3.29)

### 新潟市GIGA宣言



私たちは端末を利用するときに、次のことを守ります。

学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

人が嫌がることや人を傷付けることはしません。



↑「NIIGATA GIGA SUPPORT WEB」で「e-support」等,更なる情報を日々更新中！



# 新潟市教育委員会

# 目次

主に教育委員会の方針 : 黄色

主に導入・運用にかかわる説明 : 水色

主に子どもへの指導ガイドライン: ピンク

新規ページ: [NEW](#)

部分改訂箇所: [青字](#)



はじめに	P6	
ガイドライン作成の基本方針	P8	
<b>I 教職員の皆さんへ</b>	<b>P9</b>	
1 新潟市教育の情報化ビジョン <a href="#">NEW</a>		2 GIGAスクール構想の目的
3 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」		4 授業モデルの活用
5 GIGAスクール推進リーダー会 <a href="#">NEW</a>		6 オンラインでの学習指導等の対応 <a href="#">NEW</a>
<b>II 導入環境</b>	<b>P23</b>	
1 端末(1)所有者等(2) <a href="#">追加配当NEW</a> 3)種類と機能		2 周辺機器 Apple TV <a href="#">NEW</a>
3 ネットワーク環境		4 アプリケーション <a href="#">ロイロ共通フォルダNEW</a>
5 アカウント		6 特別な支援を要する児童生徒への対応
7 家庭の通信環境補助		8 学習e-ポータルへの導入について <a href="#">NEW</a>
9 各サービス等の使用許可 <a href="#">NEW</a>		10 高等学校段階へのiPad貸与 <a href="#">NEW</a>
11 幼稚園でのiPad活用 <a href="#">NEW</a>		
<b>III 整備と基本設定</b>	<b>P57</b>	
1 端末の充電方法		2 故障・破損・盗難時の対応
3 周辺機器の整備		
<b>IV 児童生徒の活用</b>	<b>P61</b>	
1 使用時間		2 アプリケーションの活用
3 カメラ・ビデオ撮影		4 ネット検索
5 著作物の使用		6 デジタルドリルの活用
7 端末の持ち帰り		8 パスワード・パスコードの設定 <a href="#">NEW</a>
9 端末の保管		

# 目次

主に教育委員会の方針 : 黄色

新規ページ: [NEW](#)

主に導入・運用にかかわる説明 : 水色

部分改訂箇所: [青字](#)

主に子どもへの指導ガイドライン: [ピンク](#)



<b>V</b>	<b>転出入時の対応</b>	<b>P76</b>
1	転出入時の際に注意すること	<a href="#">NEW</a>
<b>VI</b>	<b>支援体制</b>	<b>P79</b>
1	情報通信技術(ICT)支援員による支援	
2	ホームページによる支援	
3	研修による支援	
<b>VII</b>	<b>スケジュール</b>	<b>P83</b>
1	年度末・年度始めのスケジュール	
<b>VIII</b>	<b>資料</b>	<b>P86</b>
1	確認書	
2	情報活用能力の例	
3	モバイルルータ無償貸与の流れ	
<b>IX</b>	<b>問い合わせ先</b>	<b>P94</b>
1	問い合わせ	



# 新規ページ以外の第3版での主な部分改訂一覧



- 主な改訂箇所は青字で示してある。

- はじめに(P6) 令和4年3月に高等学校段階の生徒に, 1人1台の端末を一斉導入することとなりました。
- はじめに(P7) 令和4年4月から, 高等学校, 中等教育学校後期課程の全児童生徒約60,000名と教職員にタブレット端末が貸与されます。
- 1-2GIGAスクールの目的(P13) 教育活動全般で学習の基盤となる資質・能力である「情報活用能力」(※)を育成・活用しながら, 各教科等の「資質・能力」を育成する。
- II-1 端末(1)(P24)
  - ※ 指導者用は, これまでは, 授業担当者数の配当であったが, 令和4年度から, 新たに校長をはじめ, 次ページ(P25,26)に上げた教職員に配当する。
  - ※ 年度末年度始めにGIGAスクール運営支援センター(令和4年度は準備事務局)が数の調整を行う。
- II-3 ネットワーク環境端末(1)(P33) クラウドサービス(GmailとGoogleドライブ, Microsoft Teams等)を用いて行う。
- II-3 ネットワーク環境(2)(P34) 令和4年4月より, ローカルブレイクアウトにより, 1Gbpsベストエフォートの速度に改善した。加えて, キャッシュサーバーも整備した。
- II-4 アプリケーションのインストール(P42)  
GIGAスクール運営支援センターへ追加申請する。

## ○II-5 アカウント(設定)(P45)

- ・アカウントは市立中学校を卒業した年の7月末で無効にする。
- ・ 通称名を名乗っている場合は、変更申請を確実に行う。

## ○II-5 (ロイロノート連携)(P46)

- ・通称名を名乗っている場合は、ロイロノートに、実名が出る可能性があるので、Azureアカウントの通称名への変更申請を確実に行う。

## ○II-6 特別な支援を要する児童生徒への対応(P49)

- ・ Wi-Fiルータ 原則各2台(ベッドサイド1,教室1)

※ 必要に応じて、バイオクリーンルーム用等を対応する場合がある。

## ○III-2 故障・破損・盗難時の対応(P59)

- ・ 故障・破損・盗難の場合は、GIGAスクール運営支援センターへ一報を入れた後に、故障・破損・盗難届を提出する。

## ○IV-7 端末の持ち帰り(P68)

- ・ 端末は、毎日の持ち帰りでの利用を原則とする。
- ・ 動画等の利用時間について、保護者が必要と判断した場合、スクリーンタイムを用いてブラウザアプリ等の使用時間の制限をかけることができる。マニュアルは、GIGA SUPPORT WEBに公開してある。

## ○VII-1 年度末・年度初めのスケジュール(P84,85)

- ・ 「どのiPadを誰が使っているのか」が分かるようにシリアル番号を記録する。
- ・ 年度当初に確認書をとる。
- ・ L-Gate(学習e-ポータル)で可能になる活動を知ったり、1人1台iPadの機能や仕組みを確認したりすることを通して、児童生徒が学習や生活に日常的に活用できるようにする。



## GIGAスクール構想とその加速の背景

変化が激しく予測不能な社会では、困難な状況下でも、柔軟に対応したり、創造性をもって問題を解決したりする資質・能力をもった人材の育成が求められます。

このような社会的な潮流の変化を受け、新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の3つが示され、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改革が行われてきました。

その授業改革を加速するために、令和元年12月9日に、GIGAスクール構想が発表されました。令和の時代における学校の「スタンダード」として1人1台の端末と高速ネットワーク環境を整備し、教育をよりよく変えていく営みです。更にコロナ禍の影響で整備計画が前倒しとなり、令和2年度の1年間で小学校1年生から中学校3年生までに、令和4年3月に高等学校段階の生徒に、1人1台の端末を一斉導入することとなりました。



## 新潟市におけるGIGAスクール構想の設計

本市においては、令和3年1月から、小・中学校、特別支援学校、中等教育学校前期課程に、令和4年4月から、高等学校、中等教育学校後期課程の全児童生徒約60,000名と教職員にタブレット端末が貸与されます。

本市のGIGAスクール環境の導入の設計にあたっては、家庭への持ち帰りを想定し、オフライン環境も含めて、全ての児童生徒と教職員の活用のし易さを第一にした端末やアプリケーションの選定を行ってきました。

また、安心安全なセキュリティの確保の上に、児童生徒や教職員が、創造性を発揮しながら、日常的に端末を有効活用できるように、柔軟性のある運用設計にしています。

GIGAスクール構想により整備される環境を最大限に生かして、新潟市の子どもたちの「たくましく生き抜く力」が一層確実に育まれるように取り組んでいきましょう。

# ガイドライン作成の基本方針



GIGAスクール構想の推進において、次の基本方針を定めます。

新潟市の**全ての児童生徒**に対して、**日常的に行う1人1台の端末を活用した授業**を通して、予測困難なこれからの時代の中で、「たくましく生き抜く力」の育成を目指します。

新潟市の**全ての教職員**が、自信と安心感をもって、1人1台の端末を活用した授業を実施できる状態を目指します。

この基本方針に基づき、各学校で**徹底**していただきたいこと、**配慮**していただきたいこと、**留意**していただきたいことを、具体的に示したのが本ガイドラインです。これらを学校の規模、実態に即して**咀嚼**し、**工夫**を加え自校化してください。

新潟市教育委員会は、GIGAスクール構想の推進のために、全力で各学校を支援します。



# I

# 教職員の皆さんへ





**ビジョン** 幼稚園から社会人になるまでを見通して情報活用能力をみんなで育てていくこと



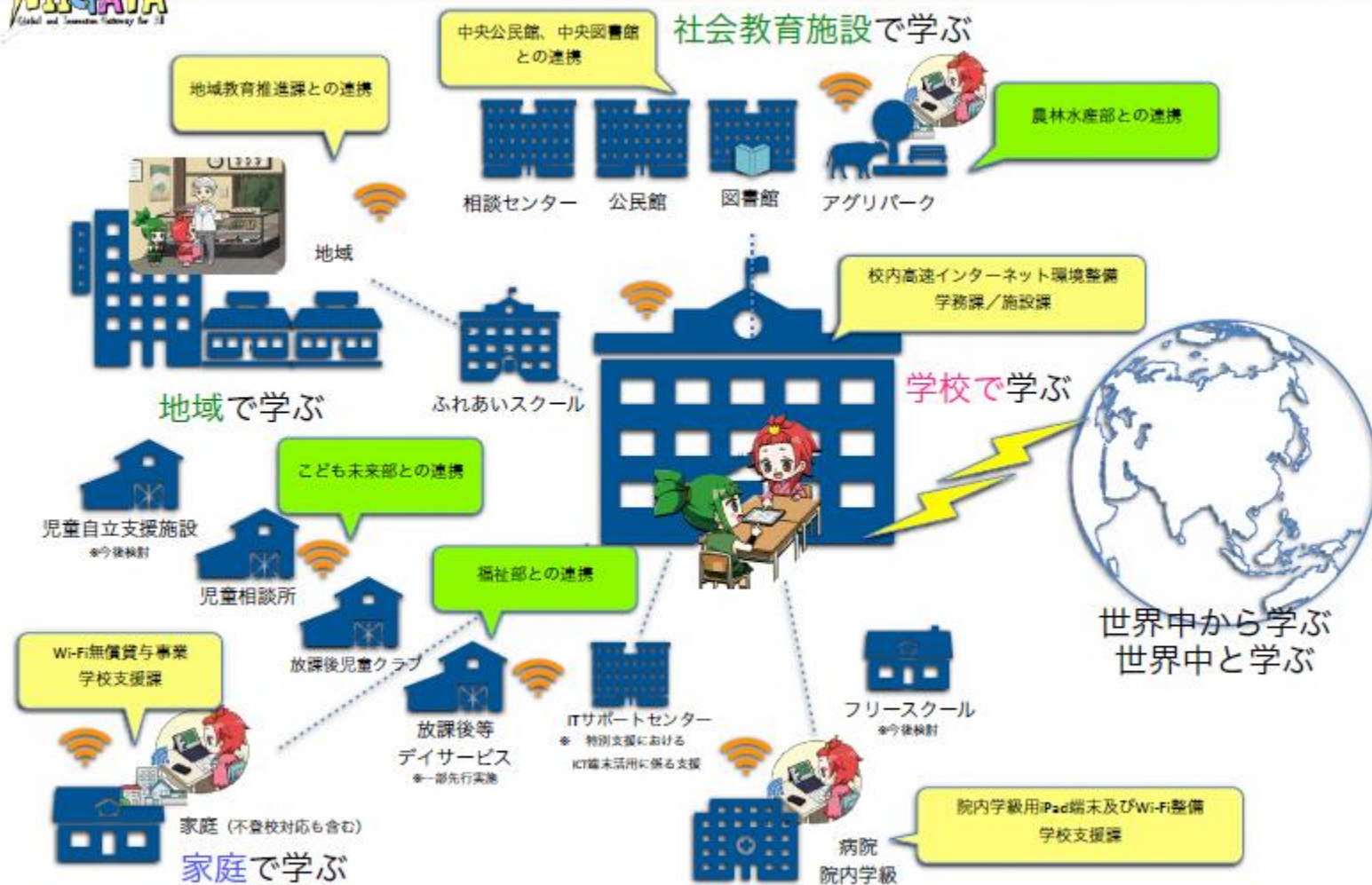
# I -1 新潟市教育の情報化ビジョン

NEW



ビジョン2

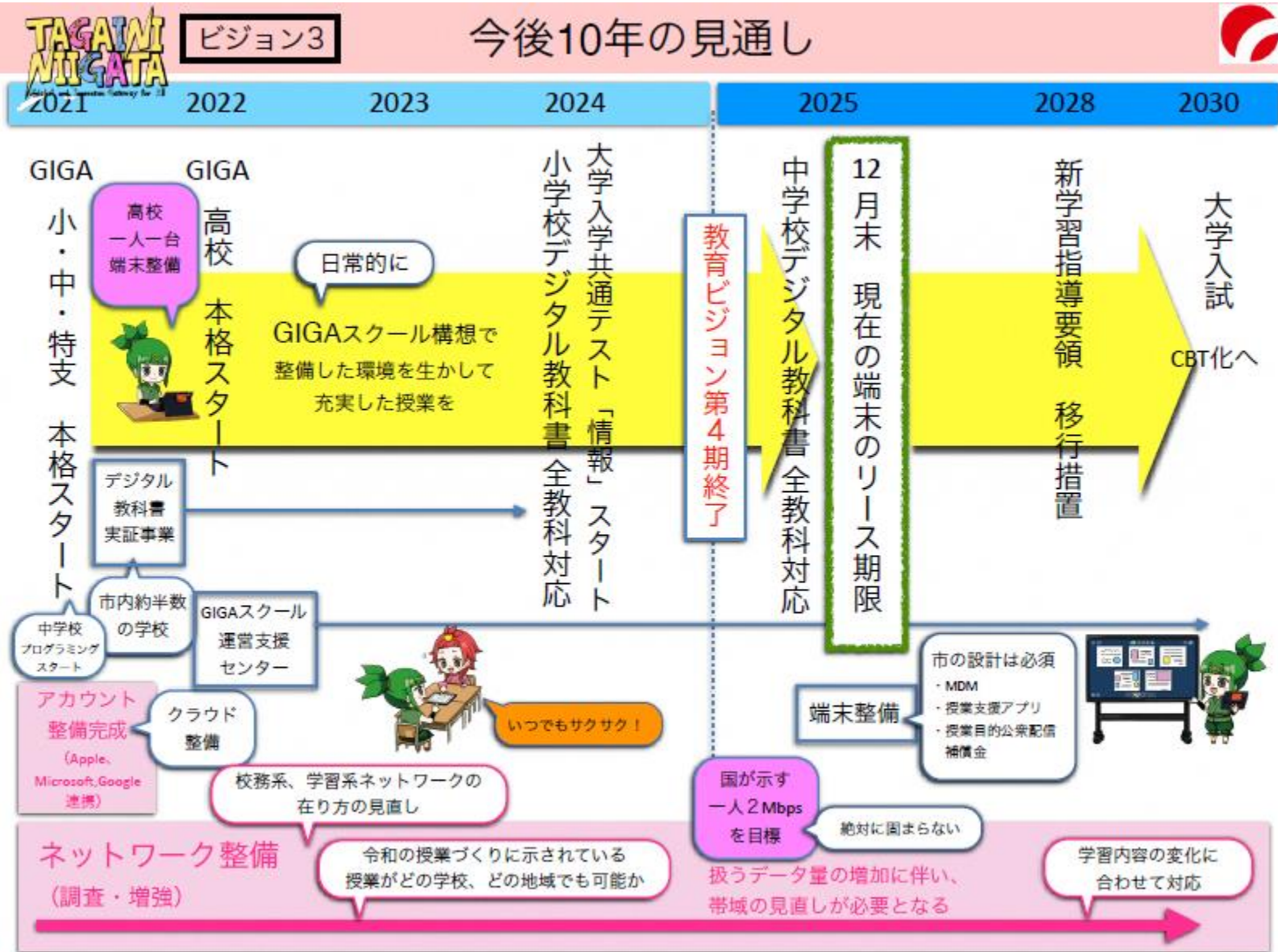
学校だけでなく、全市の様々な関係施設とも連携していくこと



今後も連携を広げていく

# I -1 新潟市教育の情報化ビジョン

**NEW**



# I -2 GIGAスクール構想の目的



【新潟市の子どもに育成する資質・能力】

## これからの社会をたくましく生き抜く力

目標に向かって自らの学びを生かしたり，他者と協働したりしながら，様々なことに挑戦し続ける力，また，その過程で自分を振り返り，自分の成長を見出す力

（新潟市教育ビジョン第4期実施計画）



【GIGAスクール構想で整備した環境を生かすことで育む資質・能力】

- **教育活動全般**で学習の基盤となる資質・能力である「**情報活用能力**」を育成・活用しながら，各教科等の「**資質・能力**」を育成する。
- ICTの利活用を前提としたこれからの社会の中で，安全を守りながら，責任をもって行動する方法を理解させ，**法を守り，倫理的にふるまう能力とスキル**を育成する。



GIGAスクール構想により，「子どもたち一人ひとりに個別最適化され，創造性を育む教育ICT環境」を整備する。

# I -2 GIGAスクール構想の目的－新しい学びのスタイル－



## 学校におけるICTを活用した学習場面

各教科等の指導でICTを活用することは、子供たちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現や、個に応じた指導の充実に資するもの。

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>

※「学びのイノベーション事業」実践研究報告書(平成26年)より

# I -3 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を  
考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。



わたし たんまつ りよう つぎ まも  
私たちは端末を利用するときに、次のことを守ります。



花野古町

まな ふか がっこう せいかつ ゆた かつよう  
学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

ひと いや ひと きず っ  
人が嫌がることや人を傷付けることはしません。



笹団子郎

# I -3 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。

① 学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

## ①についての考え方

端末貸与は、学びを深めることが一番の目的です。同時に、デジタル社会で生きる子どもたちに、人生のあらゆる場面で、デジタルを安全かつ効果的に活用し、自らの人生を豊かにするために生かしていく力も大切です。ですから、授業での積極的な活用は当然として、**学校生活を豊かにするための活用もできるように指導してください。**例えば、委員会活動、部活動、係活動、学校行事などで活用することで、児童生徒の創造性が輝く姿が見られるはずです。



# I -3 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。

① 学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

## ①についての考え方

「学校生活を豊かにする」という幅をもたせた表現にしたのは、活用方法を児童生徒と教職員が対話をし、ルールを創り出すことを意図しています。そこには教職員の指導性が求められます。例えば、YouTubeを見て全校ダンスの練習をするのは有用な使い方ではないか、一方でYouTubeで休み時間にゲーム解説の動画を見るのは、学校生活として豊かといえないのではないかなど、様々な機会をとらえて、児童生徒と考えながらルール化していくプロセスを大切にすることで、資質・能力が育まれていきます。

# I -3 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。

② 人が嫌がることや、人を傷付けることはしません。

## ②についての考え方

これは、人が社会で生きていく上での根幹となる考え方です。デジタルであっても、それは当然同じです。ただし、デジタル特有の注意点については、その具体的なことを教えていく必要があります。

# I -3 児童生徒の合言葉「新潟市GIGA宣言」



市内全校・全学年を通じて、シンプルな2つの合言葉「新潟市GIGA宣言」を考え方とともに日々繰り返し指導し、子どもに浸透させてください。

## ② 人が嫌がることや、人を傷付けることはしません。

例えば、次のようなことが、指導内容となります。

- ・人の作った作品は、著作者に権利があり、それを無断で使用することは権利侵害に当たる場合があること。
- ・文字情報でのやり取りは、対話に比べて伝わりにくく、意図と違う悪い伝わり方をしてトラブルになる危険性があること。
- ・盗撮行為は、犯罪であり、児童生徒であっても処罰の対象となること。
- ・ネットにいったん上げた写真や動画は、限りなく複製される可能性があるため、取り返しが難しいため、慎重に行うこと。

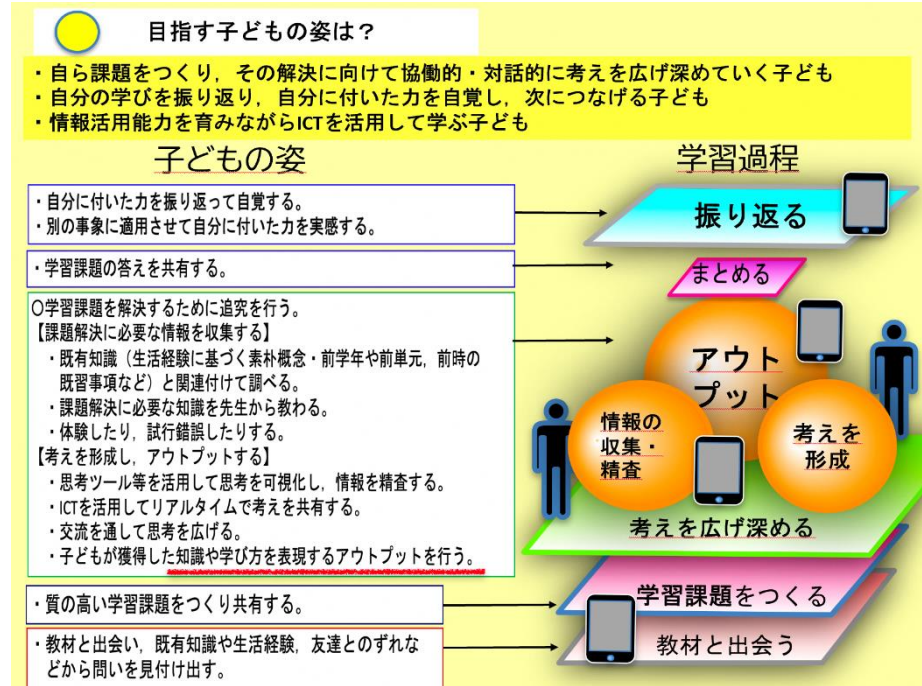
これらの例は、今後、整理して市教委から例示していきますが、大切なことは、②を常に念頭におき、自己調整することの大切さを、児童生徒に繰り返し振り返らせ、能力として身に付けさせることです。

# I -4 授業モデルの活用



令和の授業モデルの提示について新学習指導要領に則り，GIGAスクール環境に対応した新しい授業モデルを提示したので，活用する。

- 紙のリーフレットではなく，校務用パソコンや指導者用端末から専用のホームページにつないで見られるように「GIGA SUPPORT WEB」にe-supportとして，公開している。



←  
GIGA SUPPORT  
WEB のQRコード



- 市教委とICT支援員，GIGAスクール推進リーダーの情報交換を密にすることで，学校がGIGAスクール構想を進める上での技術的・ICTマネジメント的課題をより迅速に解決するために，推進リーダー会を設置する。



- 推進リーダー会と同じ仕組みを各学校内に実現し，リーダー会と連動する。推進リーダー会の情報を管理職や職員に伝達したり，校内のICTに関わる情報交換をしたりする。

新 新潟市GIGA推進リーダ…

一般

00 【市教委連絡】

000 【池田教育次長GIGAコラム】

0000 【回線接続状況・データ通…

01 【設定作業】 の話題

02 【Tips（便利な小技）集】

03 【校内のGIGAマネジメント】 …

04 【使用の日常化】 の話題

05 【情報モラルやデジタル・シ…

06 【端末持ち帰り】 の話題

07 【ロイロノートの活用方法】 …

08 【Google Workspaceの活…

09 【実践事例（授業・授業外兼…

# I -6 オンラインでの学習指導等の対応 NEW



- やむを得ず登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導等についての情報を「GIGAサポートWEB」に掲載している。



オンライン対応情報 最終更新2021.8.26

 保護者用情報 	 学校用情報 	 子ども用情報 
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# II

## 導入環境



## Ⅱ-1 端末(1)ー所有者と管理・監督ー



- 端末の所有者は、「新潟市教育委員会」(以下、市教委)である。
- 各校には、指導者用、学習者用、予備機を貸与する。
- ※ 指導者用は、これまでは、授業担当者数の配当であったが、令和4年度から新たに校長をはじめ、次ページに上げた教職員に配当する。
- ※ 年度末年度始めにGIGAスクール運営支援センター(令和4年度は準備事務局)が数の調整を行う。
- ※ 予備機は、学校規模や年度更新に関わる台数調整により台数が異なる。
- ※ 使用にかかわる管理・監督は、学校内及び通学中は校長が行い、家庭においては保護者が行う。





### ① 校長

- ・ マネジメント用に配当する。令和4年度から「学習eポータル【L-Gate】」が正式に配備され、学級ごとの活用実態が把握できる。また、「学習eポータル【L-Gate】」を通して、「学校Teams」が活用しやすくなる。

### ② 養護教諭(保健給食課が配当。他のICT端末と混ぜず、養護教諭専用として管理)

- ・ 健康観察等、保健業務を円滑に行ったり、保健教育で活用したりする。
- ・ 「学習eポータル【L-Gate】」のお知らせ機能で、保健関係の連絡を児童生徒に送る。
- ・ 学校Teamsで、職員間連絡等を行う。

### ③ 栄養教諭・栄養職員

- ・ 食育で活用する。
- ・ 「学習eポータル【L-Gate】」のお知らせ機能で、給食関係の連絡を児童生徒に送る。
- ・ 学校Teamsで、職員間連絡等を行う。



### ④ 図書館司書

- ・ 図書館教育やNIEで活用する。
- ・ 「学習eポータル【L-Gate】」のお知らせ機能で、図書館関係の連絡を児童生徒に送る。
- ・ 学校Teamsで、職員間連絡等を行う。

### ⑤ ALT

- ・ 学習者用デジタル教科書やロイロノートスクール等を用いた授業で活用する。

※ ALTへは、3月末に学校に届ける端末とは別に、4月のALT定例会時に、教育委員会担当指導主事から配当する。

### ⑥ 日本語指導協力者

- ・ 日本語指導における児童生徒支援用として活用する。

※ 日本語指導教諭は、授業担当者分で既に配当済

※ 日本語指導協力者へは、3月末に学校に届ける端末とは別に、4月の日本語指導協力者派遣事業連絡協議会研修会時に、教育委員会担当指導主事から配当する。

## Ⅱ-1 端末(3)ー種類と機能・特徴その1ー



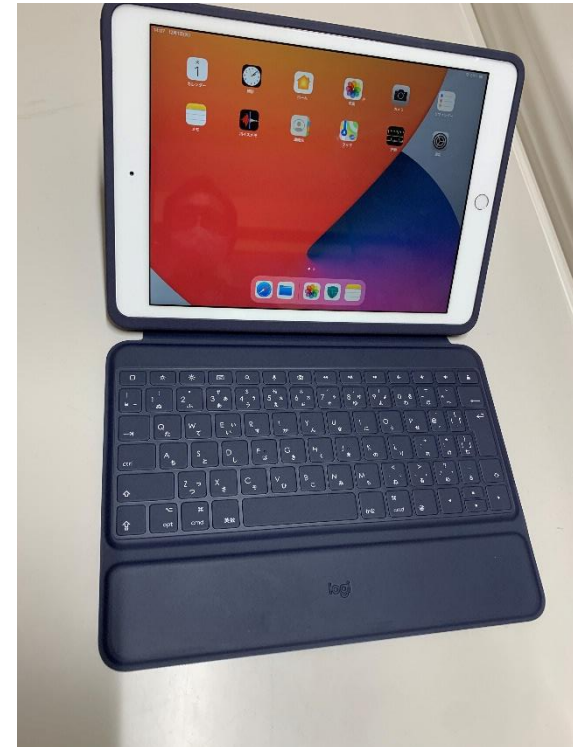
- 導入端末 「iPad 第8世代 [及び第9世代](#)」(Wi-Fiタイプ)
- 機能の特徴
  - ① キーボード付きのカバーを備えている。
  - ② 前面と後面にカメラがあり, 写真・動画撮影ができる。画質がよく, 扱いやすい。
  - ③ 直観性に優れ, 端末の画面での操作が容易である。
  - ④ アクセシビリティー(情報へのたどりつきやすさ)に優れている。

※弱視児童生徒が画面を拡大したり, 色を反転させてみたりする機能が標準機能に整備されている。音声入力機能や音声読み上げ機能も標準装備されている。
  - ⑤ 無料の基本アプリケーションが充実している。動画編集, 文書作成, 表計算, プレゼンテーション, 音楽作成, 録音, ストップウォッチ, タイマー等

## Ⅱ-1 端末(3)一種類と機能・特徴その2ー



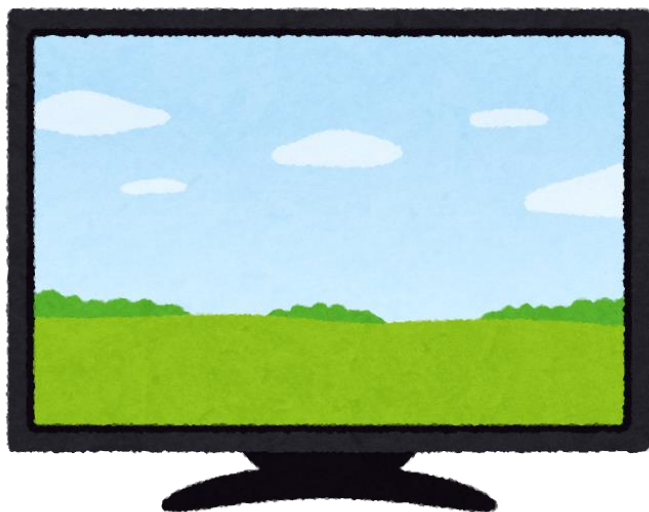
- 導入端末 「iPad 第8世代 及び第9世代」(Wi-Fiタイプ)
- 機能の特徴
  - ⑥ 電池の持ちがよく、長時間の使用が可能である。
  - ⑦ 耐久性に優れ、故障しにくい。
  - ⑧ フリーズ等の動作不良がほとんどない。
  - ⑨ コンピュータウイルスの脅威が少ない。
  - ⑩ インターネットとの接続は、セキュリティで守られている。





### 大型提示装置

- ・中学校，特別支援学校，高等学校へ全普通教室と特別教室に最大6台をR3年3月までに新規配備済。
- ・65型と55型，移動型と設置型の選択。
- ・小学校は，すでに配備された50型のものを活用。



## Ⅱ-2 周辺機器—ケーブル・コネクタ—



### HDMIケーブル

- 学級数分を配備



### iPadと大型提示装置の接続コネクタ

- 学級数分を配備





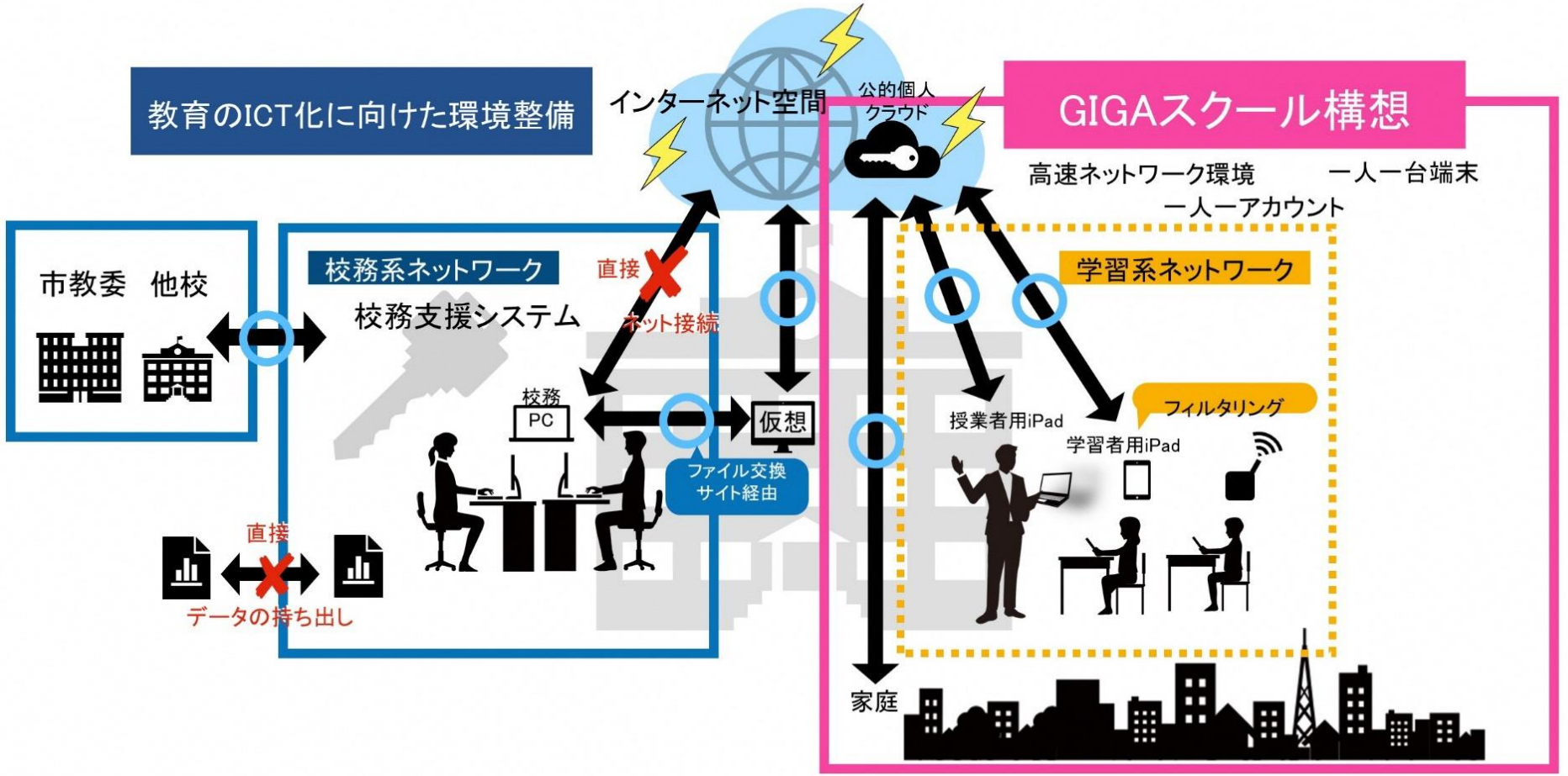
### Apple TV

- 学級数分の不足分(全普通学級数)及び特別支援教室分(中学校上限6, 小学校上限3)を, 令和4年度4月までに追加配備する。

# II-3 ネットワーク環境(全体像)



## 新潟市 教育の情報化 全体概要図

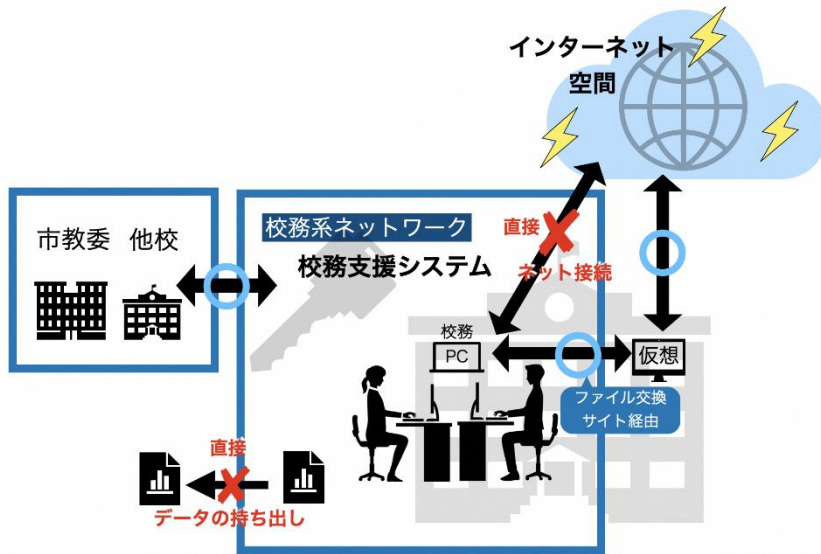




## Ⅱ-3 ネットワーク環境(1)(校務系ネットワーク)



教育ネットワークは、校務系ネットワークと学習系ネットワークに分かれている。



- 校務系ネットワークは、校務パソコンだけがつながるネットワークであり、仮想インターネットで接続されている。成績などの機微情報を扱うことができる。外部と情報をやり取りする場合は、**クラウドサービス** (GmailとGoogleドライブ, **Microsoft Teams**等)を用いて行う。
- 校務支援システムは、「校務系ネットワーク」で運用される。
- その他詳しくは、学務課の教育ネットワーク切替の通知を参照する。

## Ⅱ-3 ネットワーク環境(2)(学習系ネットワーク)



- 令和4年4月より, ローカルブレイクアウトにより, 1Gbpsベストエフォートの速度に改善した。加えて, キャッシュサーバーも整備した。

- GIGAスクール構想にかかわるネットワークは, 教育ネットワークのうち, 学習系ネットワークを指す。
- 学習系ネットワークでは, 成績情報などの機微情報は扱わない。
- 学習系ネットワークは, 各普通教室・特別教室に新たに配線したネットワークである。アクセスポイントを経由して, Wi-Fiにて, 学習者用iPadと接続されている。

## Ⅱ-3 ネットワーク環境(2)(学習系ネットワーク)



- GIGAスクール構想以前に整備されていたネットワークは、学習系ネットワークと統合されている。
- 教務室にも、学習系ネットワークのアクセスポイントを設置。  
※ 教務室は、校務系ネットワークと学習ネットワークが併存。
- 校務系ネットワークと学習系ネットワークでのデータのやり取りは、クラウドサービスを活用して行う。

# Ⅱ-4 アプリケーション(Apple純正)



## カメラと写真(写真やビデオの撮影と編集)



iPadのカメラは、スローモーションやタイムラプス、バーストモードなどの本格的な機能を備えているので、身の回りにあるものを写真や映像としてとらえ、クリエイティブに学ぶことができます。日常の風景の中に存在する図形を撮影して注釈を加えたり、逆上がりのフォームを確認したり、雲が流れる様子を定点観測するなど、使い方は無限大。AirDropや共有アルバムを使えば、生徒同士で簡単に素材を共有したり、他の人の写真にコメントをつけたりできます。

## Safari(ブラウザ)



インターネットを使って情報収集する際、特定のページを「リーディングリスト」に追加しておく、オフラインの状態でも記事が読めます。また、YouTubeやVimeoに公開されている動画をレポートや発表に使いたいときは、URLをコピーしてPages、Numbers、Keynoteに埋め込めるので、多様な情報をそのままアウトプットに活かせます。

## ClipsとiMovie(動画編集)



動画を使ってまとめたり、振り返ったりすることで、生徒たちは楽しく、チームワークを発揮しながら学びを深めていくことができます。グリーンスクリーン機能を使えば被写体と好きな背景を合成できるので、物語や歴史の一場面を再現して主人公になりきったり、ニュースや天気予報を読んでいるかのように見せたり、教室や家庭にしながら世界を舞台に映像作品を創ることができます。

## Pages(文書作成)



美しいテンプレートを使って、学んだことをレポート、ポスター、デジタルブック形式で表現できます。縦書きやルビにも対応しているほか、写真や音声、動画ファイルも簡単に追加可能。iCloud経由でファイルを共有すると、リアルタイムやオフラインでの共同編集ができます。

## Numbers(スプレッドシート)



単なる方眼紙の代わりではなく、まるで自由自在なキャンバスのように使えるNumbersでは、カラフルなグラフ、表、写真、ビデオを使ってデータを整理したり、説明することができるので、スケジュール管理はもちろん、チェックリストや実験レポートの作成にも最適です。iCloud経由でファイルを共有すると、リアルタイムやオフラインでの共同編集も可能です。

## Keynote(プレゼンテーション)



アニメーション、手描きのイラスト、ビデオ、画像や音声などを組み合わせて、学んだことをシンプルかつ直感的にまとめたり、アイデアをわかりやすく伝えることができます。iCloud経由でファイルを共有すると、リアルタイムやオフラインでの共同編集も可能です。

# Ⅱ-4 アプリケーション(ロイロノートSCHOOL)



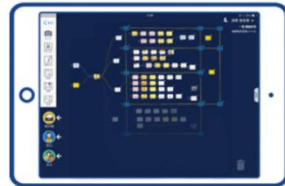
## カードをつなげるだけ

自分のいろいろな考えをカードに書き出しましょう。  
そのカードを線でつなげるだけで伝わりやすい順番に並べることができるから、授業中の短い時間で自分の考えをまとめることができます。



## 作ったカードはクラスで共有

作ったカードを先生に提出したり、生徒同士で交換しましょう。  
提出されたカードを使って発表したり、友だちのカードを見たり、比較することで学び合いが生まれます。



## 蓄積されてポートフォリオになる

先生からの資料、実験の動画、授業中の発表やプレゼン、振り返りなど、授業のすべてがノートいっぱいに蓄積されポートフォリオができていきます。  
そのポートフォリオを振り返ることで自分自身の成長が実感できるから、子どもたちの学習意欲が溢れ出します。



## 思考力を育む

シンキングツール上にアイデアを書き出しましょう。  
シンキングツールは「考える」パターンを図で表しています。  
繰り返しアイデアから考えをつくり出すことで、思考力を育むことができます。

【生徒会活動】

## Ⅱ-4 アプリケーション(ロイロ共有フォルダの活用) NEW



- ロイロの共有フォルダを活用して、新潟市全市の先生方の資料(著作権法第35条を守り、自作の教材であること)の共有が可能になっている。

The screenshot shows a sidebar menu on the left with categories: 戻る, 資料箱, マイフォルダ, ロイロ市, 学内, and 国語. Each category has sub-items like '共有' (shared) and '先生のみ' (teacher only). Colored arrows point from these items to text boxes on the right.

**【マイフォルダ】**  
自分専用のフォルダ。  
他の人からは見えず、どの授業からでも同じ内容が表示されます。  
生徒はこのフォルダにのみアップロードできます。

**【自治体共有フォルダ】**  
自治体内の学校同士で共有できます。アップロードには自治体管理者の許可が必要です。  
〇〇市共有・・・先生、生徒共に閲覧可能です。  
先生のみ・・・先生のみ閲覧可能です。生徒には表示されません。

**【学内共有フォルダ】**  
現在ログインしている学校内全体で共有できます。先生であれば誰でもアップロードできます。  
学内共有・・・先生、生徒共に閲覧可能です。  
先生のみ・・・先生のみ閲覧可能です。生徒には表示されません。

**【授業別フォルダ】**  
授業専用のフォルダです。他の授業には共有されません。  
授業内共有・・・複数クラスが設定されている同じ授業同士で共有ができます。クラスに所属している先生・生徒が閲覧できます。(詳細は下記)  
〇年〇組専用・・・クラス専用です。所属している先生・生徒のみ閲覧できます。左の例では、1年1組の国語を閲覧できる人のみ共有されます。

## II -4 アプリケーション (Googleワークスペース)



ドキュメント スライド スプレッドシート ドライブ Jamboard

### どこからでもコラボレーション

ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーションをリアルタイムで共同編集できます。



Gmail Meet Chat

### 好きな方法でコミュニケーション

メール、チャット、動画でクラス内のやり取りができます。



Classroom アサインメント フォーム

### クラスを簡単に管理

クラスの作成、課題の設定、テストの実施ができるほか、採点の時間も削減できます。



Keep カレンダー

### タスクを整理

To-Do リストを作成したり、タスクのリマインダーや会議のスケジュールを設定したりできます。

※ 発達段階により、一部機能を制限する場合があります。



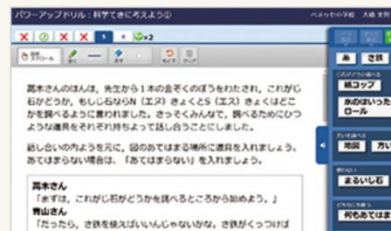
### 教科書や問題特性に合わせた出題・回答形式

1問1問、身につけたい力や解き方に合わせた、最適な回答パターンのお題。回答は自動で正誤判定し、即時フィードバック。間違えた問題もピックアップして解き直せるので、つまづきを残さず、効果的に学力を伸ばせます。

#### ■1問ごとに即時正誤判定



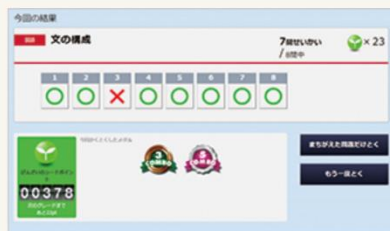
#### ■分類問題はグループ分けで



#### ■漢字の書き取りは手書きで



#### ■間違えた問題だけ解き直し



#### ■既習事項の学び直しができる



### 知識がしっかり身につく、豊富な問題数を収録

漢字(国語)は教科書の単元ごとに新出漢字を収録。教科書に合わせた学習が行えます。算数・数学は教科書ごとの「問題の配列・型」にこだわり、体系的に基礎基本を定着させることができます。  
理科・社会・英語(中学校のみ)にも、もちろん対応しています。

#### ■小学生 新学習指導要領対応

	ベーシックドリル	パワーアップドリル
国語	約2,400問	約250問
算数	約5,500問	約170問
理科	約380問	—
社会	約100問	—

#### ■中学生

	ベーシックドリル	パワーアップドリル
国語	約2,250問	約250問
数学	約2,200問	約130問
理科	約785問	—
社会	約860問	—
英語	約710問	約300問





## II-4 アプリケーション(特別支援教育)

- 特別支援教育における合理的配慮として、必要な個別アプリケーションをインストールできるようにしてある。
- アプリリストは、専門家や学校の要望を受け、必要に応じて更新していく。

### 特別支援関係のアプリリスト例(随時更新している)

<b>文字</b>	<b>日常生活</b>	<b>読むこと</b>
にほんご-ひらがな	ポケモンスマイル	Microsoft Office Lens/PDF Scan
にほんご-カタカナ	<b>スケジュール</b>	UDブラウザ
ABC-アルファベット	やることリスト	<b>計算</b>
なぞっておぼえる!ひらがなカタカナ	<b>お絵描き</b>	ドロップキット「つくるんです。」
小学校かんじⅡ	お絵描きアプリ	つくるんです OMELET
新・筆順辞典	<b>タイマー</b>	まなぶんです OMELET
<b>計算</b>	タイムタイマー~Tai Tai~Lite版	よめるんです OMELET
お金の学習	絵カードタイマー	<b>デジィ教科書関係</b>
お金の学習2	ねずみタイマー	ひなぎく
どっちがおおい	<b>書くこと</b>	のじぎく
お金そろばん	Microsoft OneNote	しゃべる教科書
買い物学習	MetaMoji Note Lite	
<b>時計</b>	phonto 写真文字入れ	
時計くみたてパズル	<b>聞くこと</b>	
さわってわかる時計の読み方	UDトーク	
<b>絵本</b>	<b>話すこと</b>	
絵本ひろば	えこみゆ	
<b>映像</b>	もじと〜く!	
NHK キッズ	しゃべって筆談	
NHK for School	緘黙症サポートコミュサポ	
<b>地図</b>	こえとら	
まなんであそべる 日本地図パズル	<b>見ること</b>	
まなんであそべる 世界地図パズル	見え方紹介アプリ	
まなんであそべる 日本地図クイズ		

## Ⅱ-4 アプリケーションのインストール(無償)



- 児童生徒が学習を深めるために必要な**無償アプリケーション**については「アプリカタログ(新潟市版)」を利用する。各学校は、必要に応じて、カタログ内のアプリを自由にダウンロードして使用することができる。
  - 「アプリカタログ」に新たに追加したいアプリがある場合は、令和4年3月「GIGAアプリカタログ(新潟市版)について(通知)」のとおり、[GIGAスクール運営支援センター](#)へ追加申請する。(随時)
    - ① 校長が、1次審査を行う。必要であると認めた場合は、「無償アプリカタログ申請書」に必要事項を記入して、[GIGAスクール運営支援センター](#)へ申請する。
    - ② 学校支援課が、2次審査を行い、可否を決定し、[GIGAスクール運営支援センター](#)が登録作業を行う。
- ※ 1つの学校から申請があり登録された無償アプリケーションは、新潟市内のすべての学校で使用可能になる。


## Ⅱ-4 アプリケーションのインストール(無償)



- **無償アプリケーション**「アプリカタログ(新潟市版)」使用に係る補足

※ 「mobiApps」を利用して、無償アプリのインストールやアップデートを行う。



※ 「mobiApps」は、画面右上の  を押すと、最新の情報になる。

※ 「mobiApps」でインストール中に、「待機中...」となって1週間以上動かなくなってしまった場合は、そのアイコンを長押しして、「キャンセル」する。その後、「mobiApps」で再度インストールをする。(もし、この方法でも解決しない場合は、学務課に問い合わせる)

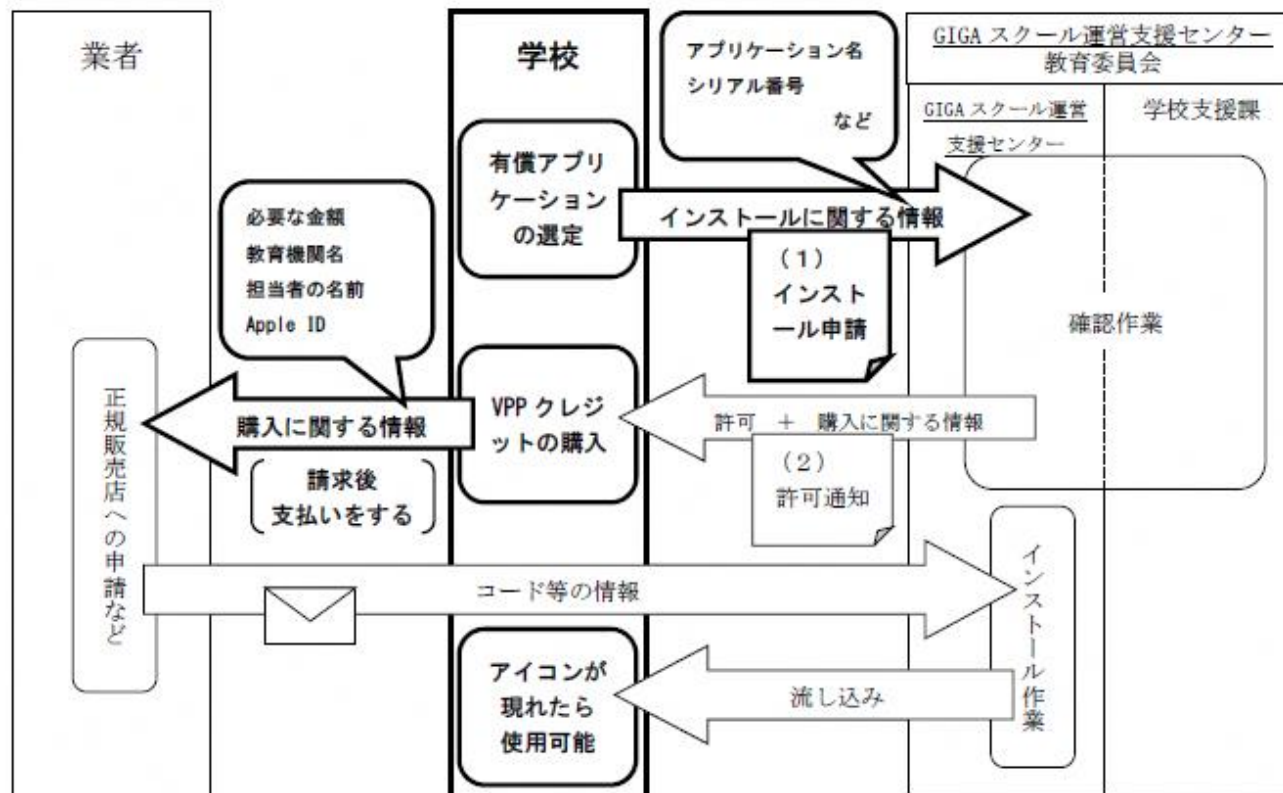


## Ⅱ-4 アプリケーションのインストール(有償)



- 有償アプリケーションのインストールを希望する場合は、令和3年3月「GIGA有償アプリケーションのインストールについて(通知)」のとおり、申請する。(随時)

【参考資料】有償アプリケーションのインストールの流れ(イメージ図)



※ 学校が行うことをゴシック太字にしてあります。

## Ⅱ-5 アカウント(設定)



- 個人アカウントを用意(教員用アカウントは配付済)
- 複数のアカウント(Apple, Google, Microsoft等)を統合し, 1人1アカウントでサインオンできるように運用する。
- 児童生徒アカウントルールは, 次のようにする。

[z99-9999@city-niigata.ed.jp](mailto:z99-9999@city-niigata.ed.jp)

z : 児童生徒のファーストネーム頭文字1文字(小文字)

99 : 小学校入学年西暦2桁

- : ハイフン固定

9999: 4桁数字ランダム設定, 重複なし

@以降固定。新潟市教育委員会ドメイン

- アカウントは市立中学校を卒業した年の7月末で無効にする。また, 市立小学校から市立中学校へ進学しなかった場合も同様の措置をとる。それまで作成したデータで必要なものは, 個人で移管する。
- 市立中等教育学校の後期課程と市立高等学校へ進学した場合はそのまま利用できる状態にし, 卒業した翌月の末日で無効にする。
- 通称名を名乗っている場合は, 変更申請を確実に行う。

## Ⅱ -5 アカウント(ロイロノートの連携)



- 令和4年3月14日付「GIGA運営支援センターと学校との連絡専用回線の開設について(通知)」のとおり、GIGA運営支援センターに、作業を依頼をすることができる。学校で行ってもよい。
- 通称名を名乗っている場合は、ロイロノートに、実名が出る可能性があるので、Azureアカウントの通称名への変更申請を確実に行う。
- ALTなど兼務校がある職員は、勤務するすべての学校で、連携作業を行う。(ALTのアカウントは、ALT本人に通知済である)

## Ⅱ-6 特別な支援を要する児童生徒への対応



- 特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒に対して、ボタンマウス等、支援機器を整備する。
  - ① **ボタンマウス**  
→大きなボタンタイプのスイッチにより、手指にマヒがある場合や、細かい操作が苦手な場合にも入力が可能になる。
  - ② **視線入力装置**  
→キーボードやタッチパネルでの入力が困難な場合に視線入力が可能になる。
  - ③ **アームスタンド**  
→いろいろな角度でタブレットが使用可能になり、車いすから降りる必要がなく、そのままでも使用が可能になる。

## Ⅱ-6 特別な支援を要する児童生徒への対応



- 特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒に対して、ボタンマウス等、支援機器を整備する。

### ④ ヘッドホン

→タブレット内蔵スピーカーからの音では聞き取りにくい場合に必要な音だけを聞き取ることが可能になる。

### ⑤ 音声入力・読み上げソフト、カメラ機能

→読み・書きに困り感のある児童生徒が活用できる。  
⇒学習者用iPadに標準装備している。

### ⑥ カバー

→特別支援学校及び小学校で特別な支援を要する場合、キーボードを付属せずに、より丈夫なカバーを必要に応じて付属する。(選択できるようにする)。



## Ⅱ-6 特別な支援を要する児童生徒への対応



- 院内学級には、感染症等での臨時休業措置の際、オンライン学習ができるように、市内6教室それぞれに、端末とWi-Fiルータを配備する。
  - 端末 各院内学級4台（指導者用含む）
  - Wi-Fiルータ **原則**各2台（ベッドサイド1,教室1）
- ※必要に応じて、バイオクリーンルーム用等に対応する場合がある。

### ▪ 設置期間

- ①Wi-Fiルータ 令和2年12月1日～
- ②端末 令和2年12月15日～



- ※ 端末については、令和3年度以降も使用できる。
- ※ Wi-Fiルータについても、令和3年度以降も継続して使用できる。

## Ⅱ-7 家庭の通信環境補助



- 家庭の通信環境は，原則として各家庭で用意する。
- 家庭にWi-Fi通信環境がなく，保護者からの希望がある場合，市教委が，学校を通して，モバイルルータを無償貸与する。その際の流れは，巻末に資料(Ⅷ-5 モバイルルータ無償貸与の流れ)として示す。
- 通信料は，各家庭の負担とし，各家庭で契約をする。

## Ⅱ-8 学習eポータルへの導入について NEW



- 令和4年度から、ICT端末活用の新たな入口となる「学習eポータル」(内田洋行L-Gate)を導入し、日常的に活用していく。

「学習eポータル」(L-Gate)でできること(現時点。順次拡張予定)

### (1) お知らせ機能の活用

- ・市教委から、全市一斉に連絡ができる。  
(例 子どもたちへの一斉調査(Google Form), GIGA漫画の配信等)
- ・学校から校内一斉に連絡ができる。  
(例 校長先生のお話の要旨を添付, 保健室からの連絡, 委員会連絡等)
- ・学級担任から学級一斉に連絡ができる。(例 一日の予定等)

### (2) 各種コンテンツへの入口

- ・「ロイロノートschool」WEB版, ミライシード(ドリルパーク), Microsoft office系各種サービス(Word, Excel, PowerPoint, Teams等), Google Workspace系各種サービス(classroom, foam, Google drive等), タイピングサイト, プログラミングサイト(Scratch等), NHK for Schoolなど, 教育委員会おすすめのサイトへのリンク

### (3) 新規無料コンテンツの利用

- ・学研まんがひみつ文庫(人気シリーズ180種の電子書籍)
- ・おしごと年鑑2021(キャリア教育対応コンテンツ)



「学習eポータル」(L-Gate)でできること(現時点。順次拡張予定)

## (4) MEXCBT(文部科学省の進めるオンライン学習システム)

- ・全国学力調査の過去の問題への入口(教員が指定した問題を実施できる)

## (5) デジタル教科書・教材の入口

- ・全市に導入される外国語のデジタル教科書(小5～中3), 実証事業に応募した学校のその他のデジタル教科書(令和4年4月～)の入口
- ・社会科副読本等, 今後デジタル化されるコンテンツの入口

## (6) 児童生徒用Microsoft Teams

- ・ワンタッチでできるグループ(各学級が基本)内限定の同時双方向オンラインシステムである。
- ・個人チャット機能をカットし, 学級担任が必要に応じて学級Teamsを作成できる。
  - ※ 教員の管理下で, 安全に文字でのコミュニケーション活動を行うことができ, 実践的に情報モラルを育成することが可能となる。
- ※ 教育委員会は, これらのコンテンツへの「アクセス数」等の「学習ログデータ」を把握することができ, それらのデータを活用して各学校へよりの確な支援を行う。各学校は, 自校分の「学習ログデータ」を把握し, 指導改善に生かす。



- 「メール」「Microsoft 365 A1」「Teams」の使用については、下記のように許可している。

	児童生徒	教職員
メール	×	○
Microsoft 365 A1 (Web版)	○	○
Teams	○ チームは、教職員が作成する。生徒は作成できない。	○



令和4年4月から、高等学校段階(高等学校, 中等教育学校後期課程)でも, 1人1台のICT端末の配当を行い, GIGAスクール構想が本格的にスタートする。

### ○ 生徒へのiPadの貸与と返却

- 生徒へのiPadの貸与がスタートする令和4年4月は, 全学年で「GIGA開き」を行い, シリアル番号や確認書の確認等を確実に行う。
- 高校3年生(高志中等においては6年生)は, 年度末の2月もしくは3月に, 「GIGA納め」を行い, iPadのリセット作業等を行ったうえで, 学校に返却し, 次年度4月に新1年生(高志中等においては4年生)に引き継ぐ。





### ○ iPadの故障・破損・盗難時の対応

※ GIGAスクール運営支援センターに速やかに連絡する。

- 通常の使用による自然故障は、納入事業者が設定のため端末に電源を入れてから、1年間のメーカー保証となる(学校での使用開始日より1年間ではない)。
- 落下等による破損や盗難の場合の保険については、保険対象になる場合もある。紛失は、保険の適応外となる。
- 故意の破損と思われる場合や紛失時の費用負担については、報告書や聞き取りを基に市教委でその都度検討する。





小学校からスタートする1人1台貸与による授業に向けて、幼稚園でもiPadを活動した保育を体験し、園児がiPadに親しんでおく。

- 市立幼稚園へは、指導者用のiPadとして令和3年度の学級数と同じ台数が配当された。また、令和4年度から、管理職用も新たに配当した。（導入端末は、市立学校と同様である。）
- 教職員が、iPadを活用して保育の振り返りや園内研修を行ったり、園児が、興味・関心のある事柄について調べる活動をする場面で、教員と一緒にiPadを使ったりすることが考えられる。
- 故障等の対応は、市立学校と同様である。
- 研修やサポートは、必要に応じて、GIGAスクール運営支援センターに依頼することができる。





# Ⅲ

## 整備と基本設定





## Ⅲ-1 端末の充電方法

- 1 学校の充電保管庫は、学校によって10台収納型、22台収納型、42台収納型のタイプがある。
  - 2 充電保管庫は電気容量の関係で、全台同時充電を避けるため、輪番充電仕様(タイマー設定)としている。各校で充電時間等のタイプが違うので、施設課の通知に沿って対応する。
- ※ 利用頻度により、充電の持ち時間が変わるので、各校の実態により、方法を調整すること。導入当初は、数時間の利用で、3～4日間利用できる。



## Ⅲ-2 故障・破損・盗難時の対応

- 通常の使用による自然故障は，納入事業者が設定のため端末に電源を入れてから，1年間のメーカー保証とする（リース開始日より1年間ではない）。
- 落下等による破損や盗難の場合は，5年間のリース期間を通して，動産保険で対応する。修理期間中の代替機は学校配当の予備機（学校の児童生徒数に応じて配当）で対応する。
- 故障・破損・盗難の場合は，[GIGAスクール運営支援センター](#)へ一報を入れた後に，故障・破損・盗難届を提出する。
- 紛失は，保険の適応外となる。代替機は，自然故障の場合と同様である。
- 故意の破損と思われる場合や紛失時の費用負担については，報告書や聞き取りを基に市教委でその都度検討する。



## Ⅲ-3 周辺機器の整備

- 市教委として一律の整備をしていないものの中で、学習に効果があると考えられるもの(デジタルペン, Apple TV等)の整備については、学校予算や教材費等を活用して校長の判断で行う。

例 デジタルペン(スタイラス)の場合

- ① 個人で購入したものを、必要に応じて持ち込むことを認める。
  - ② 教材費等で購入する。
  - ③ 1クラス分や1学年分を、共用ツールとして配当予算で整備する。
- ※ ①は、合理的配慮であり、他の文房具と同様の扱いとして実施しやすい。
- ※ 学校として、1人1本持たせたい場合は、②を推奨する。その際、家庭の負担も考慮し、あまり高価なものではない方が望ましい。
- ※ ③は、備品となるので、授業時間等の共用利用が原則となる。家庭への持ち帰りを想定する場合は、①②が望ましい。
- ※ デジタルペンを使用する場合も、タイピング能力の育成の観点から、キーボードでの文字入力をおろそかにせずに指導する。
- ※ イヤホンも同様であるが、根本が太いタイプだとカバーに引っ掛かり、差し込むことができないので、選定の際には留意する。

# IV

# 児童生徒の活用





## IV-1 使用時間

- 学校での使用時間の制限は共通には設けない。ただし、健康面を考慮し、目安として、30分使用したら目を休めるよう指導し、長時間の連続使用はしないこととする。
  - ※ 目の健康のため、合わせて30cm離して使用をするように指導する。
- 家庭での使用時間は、保護者の責任において、各家庭で定める。各校は、保護者に子どもと相談する中で、使用時間のルールを定めるように促す。その際、発達段階や児童生徒の実態に応じて、目安となる時間を各校で設定しても構わない。
- 安全に登下校するために、登下校中には、使用しないことを徹底して指導する。



## IV-2 アプリケーションの活用

- 児童生徒及び教職員は、インストールされているアプリケーションやアプリカタログ（新潟市版）に登録されているアプリケーションを、学習に必要な範囲で自由に使用できる。
- アプリカタログ（新潟市版）に登録されているアプリケーションを、必要に応じて試しで使ってみたり、必要ではなくなった時に削除したりしながら、自分にとってよりよい学習の方法を探っていくことも大切な情報活用能力の1つである。
- 新たに、児童生徒に使わせたい無償アプリケーション、有償アプリケーションがある場合は、Ⅱ-4のとおり申請できる。



## IV-3 カメラ・ビデオ撮影

- 学習や学校生活を豊かにする目的にのみ撮影できる。
- 人を撮影するときには，許諾をとる。
- 肖像権を意識して使用できるように指導する。
- 盗撮行為は，犯罪であり，法的に処罰されることがあることを発達段階に応じて，繰り返し指導する。





## IV-4 ネット検索

- 学習や学校生活を豊かにするためにのみ検索する。
- 機能として、不適切なサイトにアクセスしにくいようにフィルタリング制限をかけている。端末で制御しているので、家庭に持ち帰ったときなどでもフィルタリングは有効である。不適切なサイトにアクセスするリスクは少ないが、万一犯罪や悪質ないじめ等につながるアクセスを学校が把握した場合は、市教委でアクセス履歴をたどれることを児童生徒に周知して、不正アクセスの未然防止に努める。職員の機器においても同様である。
- 指導に際しては、100%安全なフィルタリングはあり得ないという認識をし、不適切なサイトを児童生徒自ら判断し、アクセスしないことで危険を避ける能力を培うよう指導する。



## IV-5 著作物の使用

- 教科書や資料集をはじめとする著作物は、新潟市においては授業目的であれば、インターネット（GoogleドライブやiCloud等のクラウド、ホームページ等）上にアップロードできる。
- ※ 令和3年度から、授業目的公衆送信補償金制度を活用し、市教委が一括して著作権使用補償金を管理団体に支払うことを通して、児童生徒が学習に必要な範囲内で著作物のクラウド保存等ができるようにしている。
- 著作権や商標権などの知的財産権を尊重する態度を育成するよう指導する。
- 著作権や商標権を著しく侵害した場合は、法的に処罰される可能性があることを発達段階に応じて指導する。

## IV-6 デジタルドリルの活用 (小中のみ)



- 個別最適な学びを促す目的で、デジタルドリル「ドリルパーク」を活用できる。
- 国語・算数・数学・理科・社会・外国語・英語の全学年・全単元を網羅しており、過去の学年に戻って学習することも可能である。
- 使用するには、インターネットにつなぐ必要がある。
- 各校で活用する場面を決め、積極的に活用することを推奨する。
  - 例1 授業の開始時の5分間、個別に必要な内容に取り組む
  - 例2 スキルタイム等を設定して活用する。
  - 例3 学童保育や家庭で使用する。(Wi-Fiが使える場合)
- 紙のドリルの採用は校長が権限を有している。デジタルドリルの採用により、紙のドリルの採用を差し止めるかは、各年度のデジタルドリルの活用状況や使用感を基に、年度末に各校の校長が判断する。



## IV-7 端末の持ち帰り

- 家庭学習や家庭との連絡のために、端末は、毎日の持ち帰りでの利用を原則とする。
- 保護者が端末を活用する様子が分かるように、授業参観で端末を活用した授業を公開したり、お便りや学校ホームページ等で活用の様子を周知するなど工夫する。
- 家庭でのWi-Fi接続は、各家庭で行う。接続方法は、市販のiPadと同様に簡易である。端末でフィルタリング制御しているので、学校と同様のインターネット接続制限がなされる。
- 動画等の利用時間について、保護者が必要と判断した場合、スクリーンタイムを用いてブラウザアプリ等の使用時間の制限をかけることができる。マニュアルは、GIGA SUPPORT WEBに公開してある。



## IV-7 端末の持ち帰り

- 持ち帰った端末を活用した宿題を出す場合には、オンライン環境が整備できていない児童生徒に配慮し、オフラインでの活用でも可能な内容にすることで、Wi-Fi環境がない児童生徒に不利益が出ないように留意する。一方で、オンラインでの発展的な学習をする児童生徒がいても妨げない。
- 家庭での使用を承諾しない保護者がいて持ち帰れない児童生徒がいる場合、当該児童に紙等の他の手段を用いることでも可能な課題を出すなどの配慮を行い、端末を持ち帰れないことで不利益が出ないように留意する。



## IV-7 端末の持ち帰り

- 校長は、児童生徒と保護者に利用の確認書をとる。そのフォーマットは、全市一律の様式である。使用にかかわる管理・監督を保護者が行うことについて同意した場合にのみ持ち帰ることができることを示す。
- 校長は、持ち帰り使用の承諾をしない保護者がいた場合、持ち帰りの意図や学習効果、利便性等について説明し理解を得る努力をする。確認書への署名が得られない家庭の児童生徒に対して、紙での課題や手紙の配付などの代替手段を講じることで、格差が生じないように配慮する。なお、持ち帰りの意図や学習効果等の説明[動画](#)や資料、確認書の様式は、市教委の用意したものを活用する。  
※ VIII-1 確認書を参照のこと。



- パスワードとパスコードについては、子ども独自のものを作成し、次の3つのスキルの育成と確実な管理を行うこととする。

## 育成するスキル

- ① 自分の力でログイン・ログアウトできる。
- ② 人に教えない理由を知り、教えない態度を身に付ける。
- ③ 忘れたらデータにアクセスできないことを知り、管理する。

- パスワードとパスコードは、子ども自身が決めることを原則とする。人に分からない個別のものにし、他の人に伝えないように指導する。



## IV-8 パスワード・パスコードの設定

### ＜パスワード管理の例＞

- ※ 小学校低学年児童や特別な支援が必要な児童生徒においては、スキル②について教えた上で、教師が代行して打ち込んだり、記録したりしてもよい。
- ※ 小学校中学年においては、本人が覚えておくことを原則とするが、忘れることが多いことが想定される場合、子どもの依頼を受け、教員が記録をコピーしてもよい。





- パスワードは、10回連続で間違えて入力すると、操作できなくなり、GIGAスクール運営支援センター内でリセットするしか方法がなくなる。その場合は、GIGAスクール運営支援センターにTeamsの連絡専用回線を用いて、該当アカウントを連絡し、パスワードをリセットしてもらう。



- iPadを立ち上げる際のパスコードは、11回連続で間違えて入力すると、iPadがロックされ操作できなくなり、GIGAスクール運営支援センター内でリセットするしか方法がなくなる。(iPad内のデータがすべて消える。)
- よって、以下のようなメッセージが出たら(5回目くらいから出る)、すぐに、GIGAスクール運営支援センターにTeamsの連絡専用回線を用いて、シリアル番号を連絡する。この時点であれば、ほとんどの場合、流し込みで解決することができる。

iPadは使用できません

1分後にやり直してください



## IV-9 端末の保管

- 端末は、日常的に使用するもので、毎時間保管庫に戻すことは現実的ではない。通常は、机の引き出しに入れて、すぐに取り出して使用できるようにする。
- 端末を学校に置いて帰るときには、充電保管庫に入れて帰る。
- 教室を移動するときの対応は、各校の実態に応じて判断する。

# V

## 転出入時の対応





- 1 市内，市外問わず，転出入があった際は，GIGAスクール運営支援センターに連絡し，端末を渡す。
  - ① Teams専用回線で，次の情報を伝える。  
(伝えること: 学年，氏名(ふりがな)，**転出先の学校名**)
  - ② 該当端末を**リセットせずそのままICT支援員に渡す**。
  
- 2
  - ① **市内学校へ転出の場合**
    - ・ 運営支援センターでは，端末をリセットせずに，アカウント設定を新学校に直して，**新学校を通して，子どもに渡す**。  
**子どもは，同じ端末を今まで通り，そのまま使える**。
  - ② **市外学校へ転出の場合**
    - ・ 運営支援センターで，端末をリセットし予備機とする。



- 報告する氏名(ふりがな)で必要がある場合は、通称表記にすることも可能である。(L-Gateやロイロノート等に表示されるので、慎重に確認すること)
- 市内に転出する場合、転出元の学校のロイロノート連携を解除せず、転出先の学校でロイロノート連携を行うと、児童生徒は、両方にアクセスでき、転出元の学校での履歴を活用して学習することができる。ただし、個人情報等の関係で、必要な場合は、転出元の学校のロイロノート連携を解除してから、転出すること。

# VI

# 支援体制



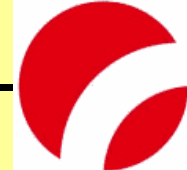


## VI-1 情報通信技術支援員による支援

- 情報通信技術支援員 (ICT支援員)による支援を行う。
- サポート企業： ウィネット
- 支援時期：令和4年4月1日から令和5年3月末まで。  
(学校への配置は4月1日からスタート)
- 支援内容
  - ① 端末の年度更新作業
  - ② タブレット端末の活用研修(教員対象)
  - ③ 支援WEBサイト(GIGAサポートWEB)の作成・管理
  - ④ 授業支援

等





## ・ 主なコンテンツ

①「e-support」 学校園教育の重点と令和の授業づくり

②新潟市教育委員会「GIGAチャンネル」

・動画でのタブレット活用支援

③GIGAスクール構想ガイドライン

④GIGA Q & A

⑤ロイロノート等アプリケーション

・操作方法ビデオクリップ

⑥オンラインサポート依頼

⑦地域・保護者向けページ

⑧子ども向けページ

⑨オンライン対応情報





## VI-3 研修による支援

- ① 学校支援課による研修
  - ・パイロット校の成果に学ぶ研修(悉皆)
  - ・計画訪問と連動した研修(対象校)
- ② ICT支援員による研修
  - ・各校要請による個別研修(任意)
  - ・「教育委員会GIGA SUPPORT WEB」を活用した自主研修
- ③ 総合教育センターによる研修
  - ・授業づくり研修(希望)
  - ・アプリ基本操作研修(希望)
  - ・自主研修に役立つコンテンツの公開 等

実施時期等は、別途通知する。

# VII

## スケジュール





## VII-1 年度末・年度始めのスケジュール

- ①端末の使用開始にあたって(新入生の使用開始について)
- ・端末は、卒業生のものをデータ移行をした上で初期化して用いる。(2月第3週から3月末の端末の移動まで)
  - 増減については、[GIGAスクール運営支援センター](#)が4月初めまでに調整を完了する。
  - ・名前シールは、4月初めまでに業者が届ける。
  - ・年度当初に確認書をとる。
  - ・[「どのiPadを誰が使っているのか」](#)が分かるようにシリアル番号を記録する。
  - ・4月中には、GIGA開きを行い、使用を開始する。
- ※ 「GIGA開き」で、端末の使い方の基本を学び、子どもたちが「新潟市GIGA宣言」を意識して学習に活用しようとする意欲を高める。



## VII-1 年度始めのスケジュール

- ②端末の使用開始にあたって(在校生の使用開始について)
- ・ 新年度の端末使用初日に「GIGA開き」を実施し、「GIGA宣言」に基づいた端末活用の在り方やL-GateやTeamsの活用について確認する。
  - ・ 年度当初に確認書をとる。

ねらい

- L-Gate(学習e-ポータル)で可能になる活動を知ったり, 1人1台iPadの機能や仕組みを確認したりすることを通して, 児童生徒が学習や生活に日常的に活用できるようにする。

# VIII

## 資料





## VIII-1 確認書

- ・全市共通フォーマットである。(小学校低・中学年用と、小学校高学年・中学校・高等学校用の2種類がある。)
- ・小学校から高等学校までの全学年で確認書をとる。
- ・確認書は、各校で1年間保管する。(紙でもデータでもよい)。
- ・確認書に署名を得られない児童・生徒については、学校での使用はできるが、端末を持ち帰ることはできない。
- ・宿題等については、持ち帰らない児童生徒にも配慮した工夫をしていく。



## VIII-2 情報活用能力の例①

### 資質能力の三つの柱と情報活用能力

○知識及び技能(何を理解しているか、何ができるか)

情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、技術に関する法・制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。

○思考力、判断力、表現力等(理解していること、できることをどう使うか)

様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力や問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。

○学びに向かう力、人間性等(どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)

情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること。

中央教育審議会答申 平成28年12月





# VIII-2 情報活用能力の例②

## 情報活用能力の体系的な整理の例

		分類
A. 知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に 活用するための知識と技能	①情報技術に関する技能 ②情報と情報技術の特性の理解 ③記号の組合せ方の理解
	2 問題解決・探究における 情報活用の方法の理解	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の 理解
	3 情報モラル・情報セキュリ ティなどについての理解	①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・情報セキュリティの理解
B. 思考力、 判断力、 表現力等	1 問題解決・探究における 情報を活用する力 (プログラミング的思考・情報 モラル・情報セキュリティを 含む)	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び 情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決 し、自分の考えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力 等
C. 学びに向かう力・ 人間性等	1 問題解決・探究における 情報活用の態度	①多角的に情報を検討しようとする態度 ②試行錯誤し、計画や改善しようとする態度
	2 情報モラル・情報セキュリ ティなどについての態度	①責任をもって適切に情報を扱おうとする態度 ②情報社会に参画しようとする態度

教育の情報化に関する手引 令和元年12月



# VII-2 情報活用能力の例③

## 情報活用能力の育成につながる学習活動例(使用アプリ等)





## VIII-2 情報活用能力の例④

### 情報活用能力の育成のための想定される学習内容

想定される学習内容	例
基本的な操作等	キーボード入力やインターネット上の情報の閲覧など、基本的な操作の習得等に関するもの 等
問題解決・探究における情報活用	問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への見通しをもつことができる等、問題解決・探究における情報活用に関するもの 等
プログラミング (本事業では、問題解決・探究における 情報活用の一部として整理)	単純な繰り返しを含んだプログラムの作成や問題解決のためにどのような情報を、どのような時に、どれだけ必要とし、どのように処理するかといった道筋を立て、実践しようとするもの 等
情報モラル・情報セキュリティ	SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報手段に関する知識及び技能を身に付けるものや情報を多角的・多面的に捉えたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりするもの 等

教育の情報化に関する手引 令和元年12月



## VIII-3 モバイルルータ無償貸与の流れ



保護者配付資料

### 新潟市の家庭用モバイルルータの無償貸与を利用した 家庭のインターネット接続環境の作り方

- ① 新潟市の家庭用モバイルルータの無償貸与を希望し、モバイルルーター一式（アダプター等の付属品も含む）を受け取ります。
- ② **各家庭で**通信用のSIMカードを契約します。
- ③ 手元に届いたSIMカードをモバイルルータに差し込んだ上で電源を入れ、パスワード情報を確認します。
- ④ タブレット端末の設定画面から、モバイルルータのパスワード情報を入力し、インターネット接続します。

～ 日々の家庭での学習等に活用する ～

- ⑤ 次年度（4月）に、貸与希望を問われるので、「有」の場合はそのまま継続使用。「無」の場合は学校へ一式を返却します（アダプター等の付属品を含め、箱ごと返却）。※ **卒業学年は、年度内に必ず一式を返却します。**

小 (中) 学校卒業後、中学校 (高校) でも貸与を希望する際は、中学校 (高校) で再度希望してください。



## VIII-3 モバイルルータ無償貸与の流れ



保護者配付資料

### 新潟市無償貸与の家庭用モバイルルータの留意点

#### ○ 同時接続台数

- 1台のモバイルルータで10台までに機器を同時接続することができます。
- ※きょうだいでのご共同利用も可。ただし、接続台数が多くなると通信速度が遅くなります。また、その分通信量が多くなります。
- ※タブレット端末以外のご家庭の機器（スマートフォンやパソコン等）を接続することもできます。

#### ○ 故障時，不具合が生じた場合

- 学校に連絡し、修理または交換等の対応をしてもらいます。
- ※令和3年度中は無償交換。令和4年度以降は、学校へ連絡相談します。

# IX

## 問い合わせ先





## IX-1 問い合わせ NEW

- 令和4年度からGIGAスクールに関する連絡はすべて、GIGAスクール運営支援センターに専用連絡回線 (Teams) を用いて、GIGAスクールに関する全ての案件をワンストップで受け付ける。

例: アカウント(発行, パスワード忘れ, 転出入の連絡など)に関すること  
設定, アプリケーション活用の技術的な内容などに関すること  
iPadの故障, 盗難, 紛失に関すること  
ネットワークに関すること  
GIGAに関係の物品に関わること

※GIGAスクール運営支援センター専用ダイヤル 090(7705)8176

※つながりづらい場合は、R3までの「新潟市GIGAスクールサポートデスク」の番号も活用できる。

小学校 070(1563)6963

中学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 高等学校 070(1563)6938

※GIGAスクールの全体設計及び通知等に関わること 学校支援課(GIGA班)025(226)3261

※校務支援システムや教職員PC等, GIGAスクール以外のICTのかかわることは、学務課ICTグループへ